

2  
122

明治十三年  
七月布告  
刑法一覽表  
元老院藏

035620-000-6

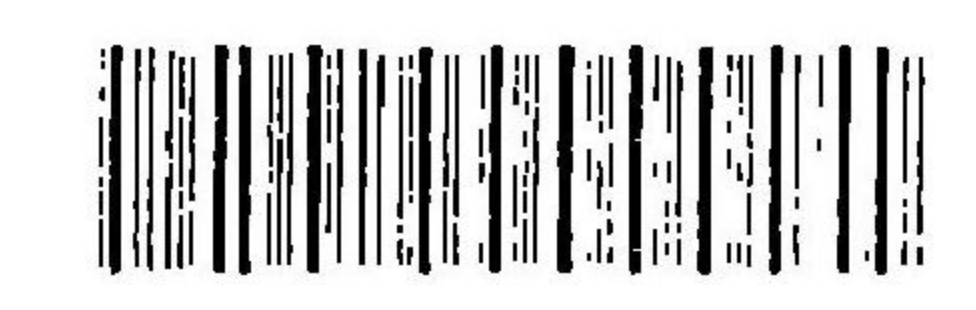
CZ-711-08

刑法一覽表 (明治十三年七月布告)

元老院

M15

BBP-0172

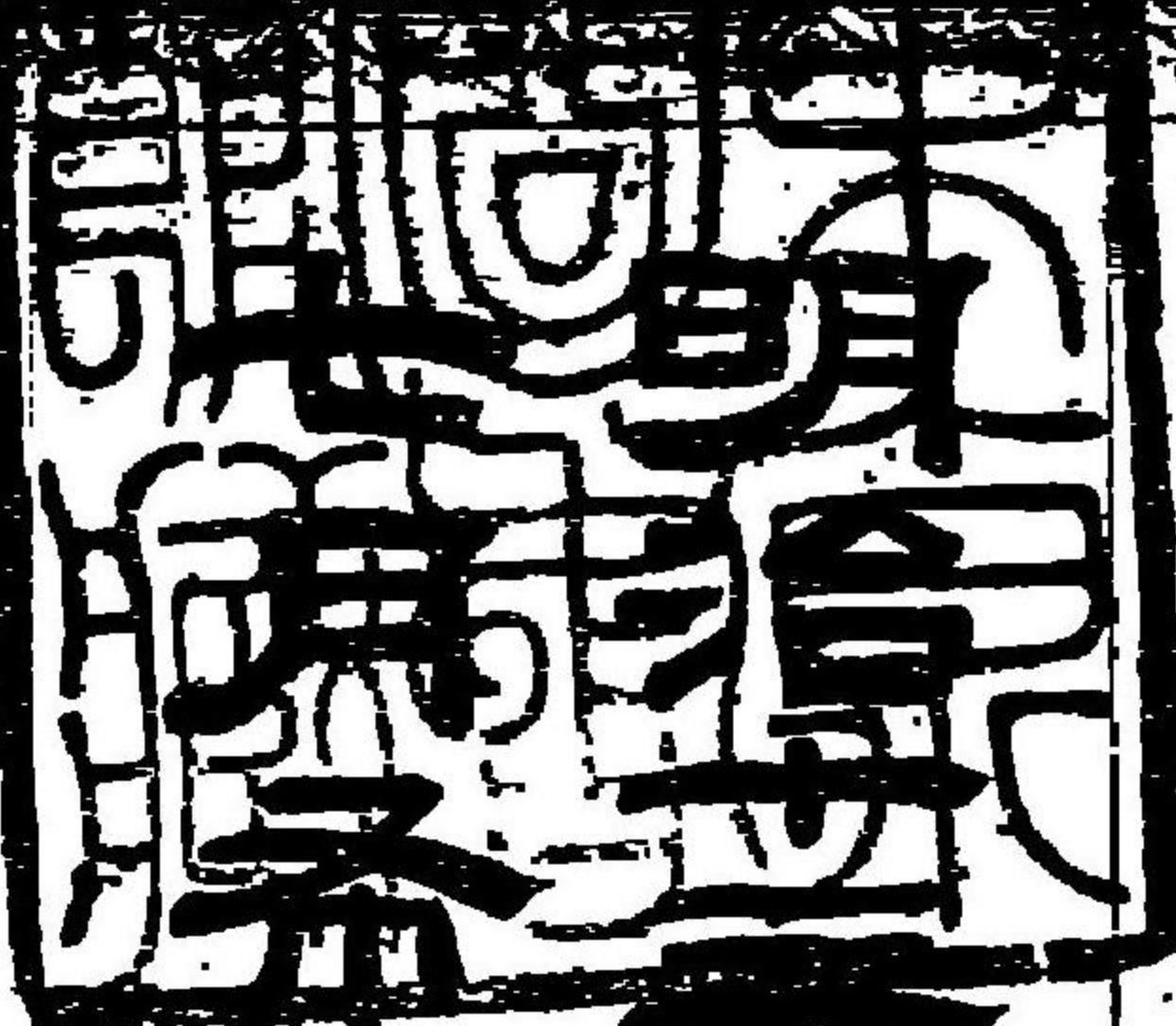




CZ  
711  
08



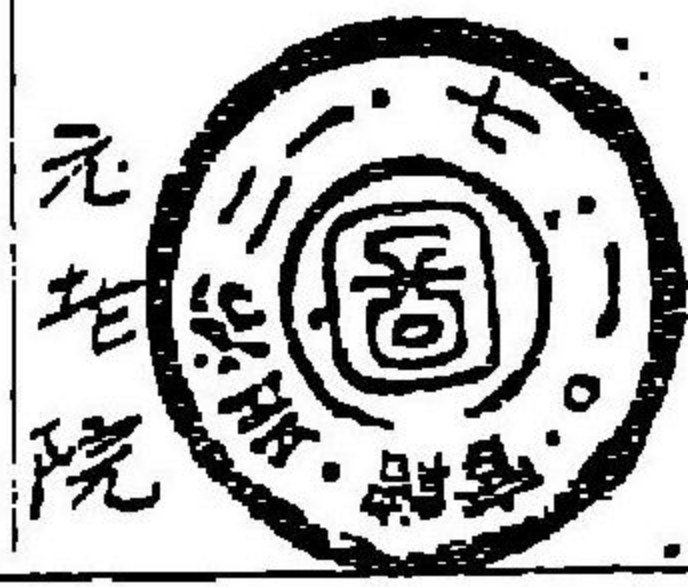
元老院藏



刑志一覽表

2-122

明治十五年一月印行





欽定

御製



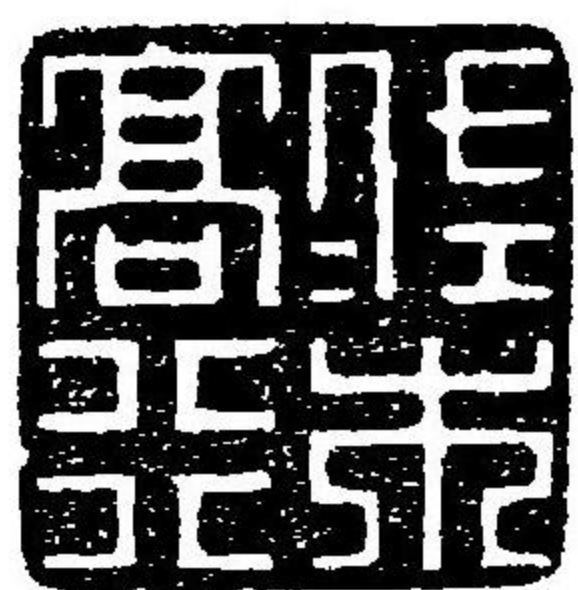


畫

一

明治十四年十  
二月

佐々木高行題





刑法頒布以來註釋之書亦多  
刊行小田切書記官芟刑法繁  
文區分類別以為此表講刑法  
者固不可不讀其全書及註釋  
而又不可以此表之略而忽之  
也予好游每游必閱其地畧誌  
以知戶口阨塞勝地遺蹟之詳  
又携掌中畧由以覽山川都邑

之大略閱畧誌不過一再而掌  
中畧則雖在舟車猶不傳披至  
紙質為爛畧者易於携帶易  
於尋檢雖有詳者終不可廢也

明治十四年十月

細川濶





而法一覽其序

而法之書終終變互於亂終  
非善讀者可而孤曰是端一疏  
故之經籍道安縱橫排可以而  
表表者之表見之史瞻然也  
善之為飛之源者曰曰人曰事曰  
時曰人是為善一長曰去曰善  
連而為飛是為善二長曰去曰

所身如心在善者身之長今  
善以法法法之身非好瞭然  
於目之可以瞻然於心是則  
治十四年秋九月元聖院權  
少書部省小田抄卷治權子也





明治十三年 刑法一覽表目錄

第一編 總則

第一章 法例

第二章 刑例

第一節 刑名

第二節 主刑處分

第三節 附加刑處分

第四節 徵償處分

第五節 刑期計算

第六節 假出獄

第七節 期滿免除

第八節 復權

第三章 加減例

第四章 不論罪及ヒ減輕

第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

第二節 自首減輕

第三節 酌量減輕

第五章 再犯加重

第六章 加減順序

第七章 數罪俱發

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第二節 從犯

第九章 未遂犯罪

第十章 親屬例

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪



第一章 皇室ニ對スル罪

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

第二節 外患ニ關スル罪

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚ノ罪

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第四章 信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第六節 偽證ノ罪

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第五章 健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪



第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ  
關スル罪

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

第六章 風俗ヲ害スル罪

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第三節 官吏財産ニ對スル罪

### 第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二節 毆打創傷ノ罪

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

第四節 過失殺傷ノ罪

第五節 自殺ニ關スル罪

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第七節 脅迫ノ罪

第八節 墮胎ノ罪

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪



第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪  
第十三節 祖父母父母ニ對スル罪  
第二章 財産ニ對スル罪  
第一節 竊盜ノ罪  
第二節 強盜ノ罪  
第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪  
第四節 家資分散ニ關スル罪  
第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪  
第六節 贓物ニ關スル罪  
第七節 放火失火ノ罪  
第八節 決水ノ罪  
第九節 船舶ヲ覆沒スル罪  
第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪

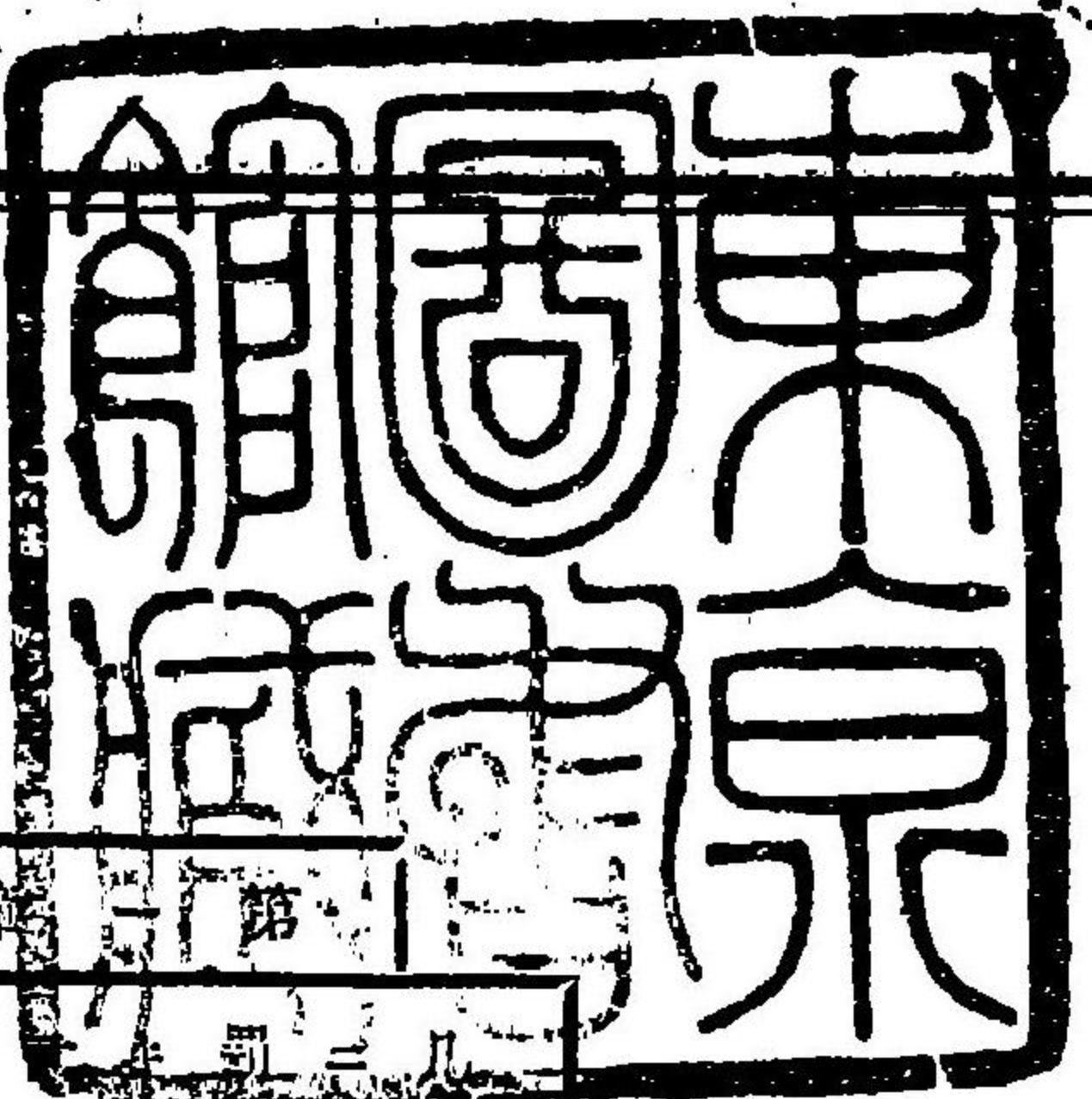
第四編 違警罪

目錄  
畢



明治十三年 刑法一覽表

元老院權少書記官小田切盛徳製



例 法 章 第 三 節

一 重 爲 三 罪 ス 於 法  
二 輕 爲 三 罪 ス 於 法  
三 罪 別 可 一 律

總 則

○此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ〇若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサル者ハ此刑法ノ總則ニ〇 第五條

得<sup>△</sup> ス 從<sup>○</sup> フ

○法律ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ〇若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサル者ハ此刑法ノ總則ニ〇 第五條

○法律ハ公布以前ニ公布スルモノヲ謂フ  
○法律ハ公布以前ニ公布スルモノヲ謂フ  
○法律ハ公布以前ニ公布スルモノヲ謂フ  
○法律ハ公布以前ニ公布スルモノヲ謂フ

罪		刑		重										輕		違																									
主		附加刑		主		無期		三有期		四無期		五有期		六重		七輕		八重		九輕		禁錮		三罰金		一拘留		二科料													
一死	絞首	規則ニ定ムル所ノ官位職名勲章ノ有リテ	同法ノ人等ニ非レハ之ヲ付テ不得	十二年以上十五年以下 第五條	十二年以上十五年以下 第七條	二無期	徒	十二年以上十五年以下 第七條	三有期	十二年以上十五年以下 第七條	四無期	十二年以上十五年以下 第七條	五有期	十二年以上十五年以下 第七條	六重	九年以上十一年以下 第七條	七輕	六年以上八年以下 第七條	八重	九年以上十一年以下 第七條	九輕	六年以上八年以下 第七條	禁錮	十一日以上五年以下 第七條	一重	十一日以上五年以下 第七條	二輕	各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス	科	二圓以上十圓以下 第七條	數	二於テ其多寡ヲ區別ス 第七條	納完	裁判確定ノ日ヨリ一月内 第七條	期	一以上十日以下 第七條	一拘留	其長短ヲ區別ス 第七條	二科料	五圓以上一圓九十五圓以下 第七條	條ニ於テ其多寡ヲ區別ス 第七條

第二章 刑例

第一節 刑名



第二節 主刑處分

刑		處分	
○大赦令箇國察ノ 日ハ死刑ヲ行フ 其執行ヲ停メ分後後一百日ヲ經ル トテ禁ス 第十四條	○宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ナル時ハ ハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ 葬ルトテ許サス 第十五條	○遺骸ハ親屬故舊請フ者アレ ハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ 葬ルトテ許サス 第十六條	六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ 定役ヲ免シ其體力相當ノ 定役ニ服ス 第十九條
無期有期ヲ分タス島地ニ發遣シ定役ニ服ス 第十七條	六十歳ニ滿ル者ハ第十 九條ノ例ニ從フ 第二十二條	五年ヲ經過スレハ行收ノ限分テ以テ罰金ヲ免 シ島地ニ於テ地ノ限リ住居セシムルヲ得 第二十一條	三年ヲ經過スル者亦同シ 第二十一條
内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス 第二十二條	六十歳ニ滿ル者ハ第十 九條ノ例ニ從フ 第二十二條	内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス 第二十三條	六十歳ニ滿ル者ハ第十 九條ノ例ニ從フ 第二十二條
禁錮場ニ留置 第二十四條	定役ニ服ス 第二十四條 工 錢	定役ニ服スル人ノ工錢ハ監獄ノ 規則ニ從ヒ其幾分ヲ獄舎ノ費用ニ 供シ其幾分ヲ囚人ニ給與ス但現役 百日以内ハ給與ノ限ニ在ラス 第二十五條	定役ニ服スル人ノ工錢ハ監獄ノ 規則ニ從ヒ其幾分ヲ獄舎ノ費用ニ 供シ其幾分ヲ囚人ニ給與ス但現役 百日以内ハ給與ノ限ニ在ラス 第二十五條
納完セ サル者 一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ 滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス 第二十七條	納完セ サル者 一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ 滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス 第二十七條	納完セ サル者 一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ 滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス 第二十七條	納完セ サル者 一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ 滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス 第二十七條
禁錮ニ換 フル者 更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ裁判官之ヲ 命ス 第二十七條 但禁錮ノ期限ハ二年ニ過クルコトヲ 得ス 第二十七條	禁錮ニ換 フル者 更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ裁判官之ヲ 命ス 第二十七條 但禁錮ノ期限ハ二年ニ過クルコトヲ 得ス 第二十七條	禁錮ニ換 フル者 更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ裁判官之ヲ 命ス 第二十七條 但禁錮ノ期限ハ二年ニ過クルコトヲ 得ス 第二十七條	禁錮ニ換 フル者 更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ裁判官之ヲ 命ス 第二十七條 但禁錮ノ期限ハ二年ニ過クルコトヲ 得ス 第二十七條
拘留所ニ留置シ定役ニ服セス 第二十八條	拘留所ニ留置シ定役ニ服セス 第二十八條	拘留所ニ留置シ定役ニ服セス 第二十八條	拘留所ニ留置シ定役ニ服セス 第二十八條
納完期 裁判確定ノ日ヨリ十日内 第三十條	納完期 裁判確定ノ日ヨリ十日内 第三十條	納完期 裁判確定ノ日ヨリ十日内 第三十條	納完期 裁判確定ノ日ヨリ十日内 第三十條
納完セ サル者 第廿七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換 フ 第三十條	納完セ サル者 第廿七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換 フ 第三十條	納完セ サル者 第廿七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換 フ 第三十條	納完セ サル者 第廿七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換 フ 第三十條

第三節 附加刑處分

附加刑		附加	
一 國民ノ特權	左ノ權ヲ剝奪ス	一 國民ノ特權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
二 官吏ト爲ルノ權	左ノ權ヲ剝奪ス	二 官吏ト爲ルノ權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
三 勳章年金位記賞號恩給ヲ有スルノ權	左ノ權ヲ剝奪ス	三 勳章年金位記賞號恩給ヲ有スルノ權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權	左ノ權ヲ剝奪ス	四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
五 兵籍ニ入ルノ權	左ノ權ヲ剝奪ス	五 兵籍ニ入ルノ權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
六 裁判所ニ於テ證人ト爲ルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス	左ノ權ヲ剝奪ス	六 裁判所ニ於テ證人ト爲ルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
七 後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲ニスルハ此限ニ在ラス	左ノ權ヲ剝奪ス	七 後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲ニスルハ此限ニ在ラス	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
八 分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ權	左ノ權ヲ剝奪ス	八 分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條
九 學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權	左ノ權ヲ剝奪ス	九 學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權	重罪ノ刑ニ處セ ラレタル者ハ別 ニ宣告ヲ用ヒマ 終身公權ヲ剝奪 ス 第三十條



刑

處

二 停止公權

第三十二條

○禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フコトヲ停止ス 第三十二條

三 禁治産

第三十三條

○重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ自カラ財産ヲ治ムルコトヲ禁ス 第三十三條

四 監

視

第三十四條

○重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ各本刑ノ短期三分一ニ等シキ時間監視ニ付ス 第三十四條  
○輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ宣告ス但本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルコトヲ得ス 第三十八條  
○死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ五年間監視ニ付ス 第三十九條  
○監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス 第四十條  
○監視ニ付セラレタル者ハ情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルコトヲ得 第四十一條

五 罰金

第三十五條

○附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納完セサル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿限ノ後之ヲ執行ス 第四十二條

六 沒收

第三十六條

○左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ  
一 法律ニ於テ禁制シタル物件  
二 犯罪ノ用ニ供シタル物件  
三 犯罪ニ因テ得タル物件 第四十三條  
○法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハズ之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スルコトヲ得ス 第四十四條

分



第四節 徵 債 處 分

刑 事 裁 判 費 用  
共全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム 第四十五條

贓 物 還 給 損 害 賠 償  
○犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セララルト雖モ被害者ノ請求ニ對シ○免カル、トヲ得ス 第四十六條  
○數人共犯ニ係ル裁判費用○ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セシム 第四十七條  
○裁判費用○ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スルコトヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス 第四十八條

第五節 刑 期 計 算

一日	一月	一年
二十四時 第四十九條	三十日 第四十九條	曆ニ從フ 第四十九條
受刑初日	放免日	刑ノ執行
時間ヲ論セス一日ニ算入シ 第四十九條	刑期ニ算入セス 第四十九條	裁判確定シタル後ニ非サレハ之ヲ執行スルコトヲ得ス 第五十條

刑 期		
一 犯人自ラ上訴	二 檢察官上訴	三 上訴中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者
刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ從フ 第五十一條	ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否トヲ分タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス 第五十二條	其日數ヲ刑期ニ算入スルコトヲ得ス 第五十二條
其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス 第五十二條	再捕ニ就限内逃走シキタル者	

第六節 假 出 獄

重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ遵守シ悛改ノ狀アル時  
假出獄ヲ許サル、ト雖モ仍ホ島地ニ居住セシム 第五十四條  
行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルコトヲ得但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス 第五十五條  
直ニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルコトヲ得ス 第五十六條  
假出獄ヲ許サス 第五十七條

第七節 期 滿 免 除

一 死刑	二 無期徒刑	三 有期徒刑	四 重懲役	五 輕懲役	六 罰金	七 拘留料
三十年	二十五年	二十年	十五年	十年	七年	一年
刑ノ執行ヲ遅レタル者法律ニ定メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得 第五十八條	主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得 第五十九條	附加ノ罰金 主刑ト共ニ期滿免除ヲ得 第六十條	剝奪公權 停止公權 及監視 ヲ得ス 第六十條	期滿免除	五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免ノ限ニ在ラス 第六十條	刑ノ執行ヲ遅レタル日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ關府裁判ニ係ル時ハ其宣告ノ日ヨリ起算ス 第六十一條 刑ノ執行ヲ遅レタル者ニ對シ逮捕ヲ命シタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス 第六十二條

假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者	假出獄ヲ許サレタル者	徒刑ノ囚	重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ遵守シ悛改ノ狀アル時	假出獄ヲ許サル、ト雖モ仍ホ島地ニ居住セシム 第五十四條	行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルコトヲ得但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス 第五十五條	直ニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルコトヲ得ス 第五十六條	假出獄ヲ許サス 第五十七條
------------------	------------	------	-----------------------------	-----------------------------	---	-----------------------------------	---------------



第 三 章

加 減 例

重	罪	
一死刑	重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス	法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但シ加ヘテ死刑ニ入ルコトヲ得ス 第六十六條
二無期徒刑	國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス	
三有期徒刑		
四重懲役		
五輕懲役 <small>第六十七條</small>		
一死刑	國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス	法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但シ加ヘテ死刑ニ入ルコトヲ得ス 第六十六條
二無期流刑		
三有期流刑		
四重禁獄		
五輕禁獄 <small>第六十八條</small>		
一死刑		該ル者減輕スヘキ時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一 該ル者減輕スヘキ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一 等ト爲ス 第六十九條
二無期徒刑		
三有期徒刑		
四重懲役		
五輕懲役 <small>第六十七條</small>		

第八節 復 權	公權ヲ剝奪セラレタル者	主刑ノ期滿免除ヲ得タル者	大赦ニ因テ	特赦ニ因テ	赦ニ因テ
復 權	主刑ノ終リタル日ヨリ	監視ニ付シタル日ヨリ	免罪ヲ得	直チニ	者ハルニ非サレハ
權	五年ヲ經過スルノ後其情狀ニヨリ將來ノ公權ヲ復スルコトヲ得 第六十三條	五年ヲ經過スルノ後亦同シ 第六十三條	得	得	得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス 第六十四條
復 權	得	得	得	得	得
復 權	得	得	得	得	得



### 第四章 不論罪及ヒ減輕

#### 第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

其 罪 ヲ 論 セ ス

○抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サルノ所爲ハ△第七十五條  
 ○天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身体ヲ防衛スルニ出テタル所爲亦同シ△第七十五條  
 ○本廳長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ爲シタル者ハ△第七十六條  
 ○罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ△第七十七條  
 但法律規則ニ於テ別ニ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス  
 ○罪ト爲ル可キ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ△第七十七條  
 ○罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セサル者ハ△第七十八條  
 ○罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ△第七十九條  
 ○罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所爲是非ヲ辨別シタルト否トヲ、審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ△第八十條  
 ○癡癡者罪ヲ犯シタル時ハ△第八十二條  
 ○十二歳ニ滿サル者及ヒ癡癡者ハ△第八十三條

得	留	場	懲	ス	得
ヲ	置	ニ	治	減	等
第 八 十 二 條	第 八 十 條	第 七 十 九 條	第 七 十 九 條	第 八 十 三 條	第 八 十 三 條
但	但	上ノ者ハ	但滿八歳以	若シ辨別アリテ犯シタル時ハ	若シ辨別アリテ犯シタル時ハ
リ 因 = 狀 情			滿 十 六 歳ニ	其 罪	宥 恕
五 年ニ	滿 十 歳ニ	滿 十 六 歳ニ	滿 十 六 歳ニ	本 刑ニ	宥 恕
間 時	ル サ キ	過	過	二	一

此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス △第八十四條

加 附	警 違		輕	
	罰 金	拘 留	罰 金	禁 錮
主刑ニ從テ加減シ	ニ該ル者加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其	ニ該ル者加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其	期金額ノ	ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑
一 分 四	一 分 四	一 分 四	一 分 四	一 分 四
ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス△第七十四條	ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス△第七十四條	ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス△第七十四條	ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス△第七十四條	ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス△第七十四條
テハ	テハ	テハ	テハ	テハ
得	得	得	得	得
五 歳以下ニ	五 歳以下ニ	五 歳以下ニ	五 歳以下ニ	五 歳以下ニ
入ルコトヲ	入ルコトヲ	入ルコトヲ	入ルコトヲ	入ルコトヲ
得	得	得	得	得
第 七 十 二 條	第 七 十 二 條	第 七 十 二 條	第 七 十 二 條	第 七 十 二 條
第 七 十 三 條	第 七 十 三 條	第 七 十 三 條	第 七 十 三 條	第 七 十 三 條



第二節 自首 減輕

<p>罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ 第八十五條</p> <p>財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減輕ノ外仍ホ 第八十六條</p> <p>其全部ヲ還償セスト雖モ半数以上ヲ還償シタル時ハ 第八十六條</p>	<p>謀殺 故殺</p> <p>ニ係ル者</p> <p>自首減輕ノ限ニ在ラス 第八十五條</p>	<p>財産ニ對ル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者</p> <p>官ニ自首スルト同ク前二條八十五ノ例ニ照シテ處斷ス 第八十七條</p> <p>此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ 第八十八條</p>
<p>一 △</p>	<p>二 △</p>	<p>一 △</p>

第三節 酌量 減輕

<p>重罪輕罪違背罪ヲ分タス所犯情狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ。</p> <p>第八十九條</p>	<p>法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ。</p> <p>第八十九條</p>	<p>酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二〇</p> <p>第九十條</p>
--	---	---------------------------------------

第五章

再犯 加重

<p>第九十二條</p> <p>先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者</p>	<p>第九十條</p> <p>先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者</p>	<p>第九十三條</p> <p>先ニ違背罪ノ刑ニ處セラレタル者</p>
<p>重罪ニ該</p>	<p>輕罪ニ該</p>	<p>違背罪ニ該</p>
<p>時ハ</p>	<p>時ハ</p>	<p>時ハ</p>
<p>第九十一條</p> <p>先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス</p> <p>若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス</p> <p>○罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラス各之ヲ徴收ス</p> <p>第九十五條</p>		
<p>第九十三條</p> <p>但一年內再ヒ其違背罪裁判所ノ管轄地內ニ於テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ。</p>		
<p>第九十四條</p> <p>再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ之ヲ。</p>		
<p>第九十六條</p> <p>陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ非常律ニ從ヒ處斷シタル者ニ非サレハ再犯ヲ以テ。</p>		
<p>第九十七條</p> <p>大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ。</p>		
<p>第九十八條</p> <p>三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同シ</p>		



第六章

加減順序

犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム  
但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス  
第九十九條

一 再犯加重 二 宥恕減輕

三 自首減輕 四 酌量減輕

第七章

數罪俱發

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑期ノ等シキ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト爲ス  
第九十條

一ノ重キニ從

重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發シタル時ハ△テ處斷ス「輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷ス」第九十條  
違背罪ニ罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ△ 第九十一條  
若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト比較シ△ヒ前發ノ刑ヲ通算セス 第九十二條  
數罪俱ニ發シ△フ時ト雖モ其沒收及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ 第九十三條

通算ス

一 罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ○但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ○ 第九十四條



第八章 数人共犯

第一節 正犯

正犯

・二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆〇ト爲シ各自ニ其刑ヲ科ス 第百四條

・人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者亦〇ト爲ス 第百五條

正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ△者ニ及ホスコトヲ得ス 第百六條

犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ△者ヲ算入シテ多數ト爲スコトヲ得ス 第百七條

専ラ指定シテ犯罪ヲ△スルニ當リ犯人△ニ乘シ其指定〇シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ△者ヲ處斷ス

唆

教

一 所犯ハシタル罪ヨリ重キ時ハ止タ其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

二 所犯ハシタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス 第百八條

第二節 從犯

一 等 減 ヲ ス

○重罪輕罪ヲ犯スコトヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ニナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ△但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止タ其知所ノ罪ニ照シ△ 第百九條

○身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト爲ル時ハ其重キニ從テ△ 第百十條

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ從犯ノ刑ハ其輕ニ從テ減免スルコトヲ得ス 第百十條

○シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示

第九章

未遂犯罪

罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行フト雖モ犯人意外ノ障礙若クハ外錯ニ因リ△時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス 第百十二條

未 遂 犯 罪		
重 罪	輕 罪	違 警 罪
ヲ 犯	サ シ	テ ム
者	者	者
ハ	ハ	ハ
前條ノ例ニ照シテ處斷ス	本條別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得ス 第百十三條	其罪ヲ論セス 第百十三條

第十章

親 屬 例

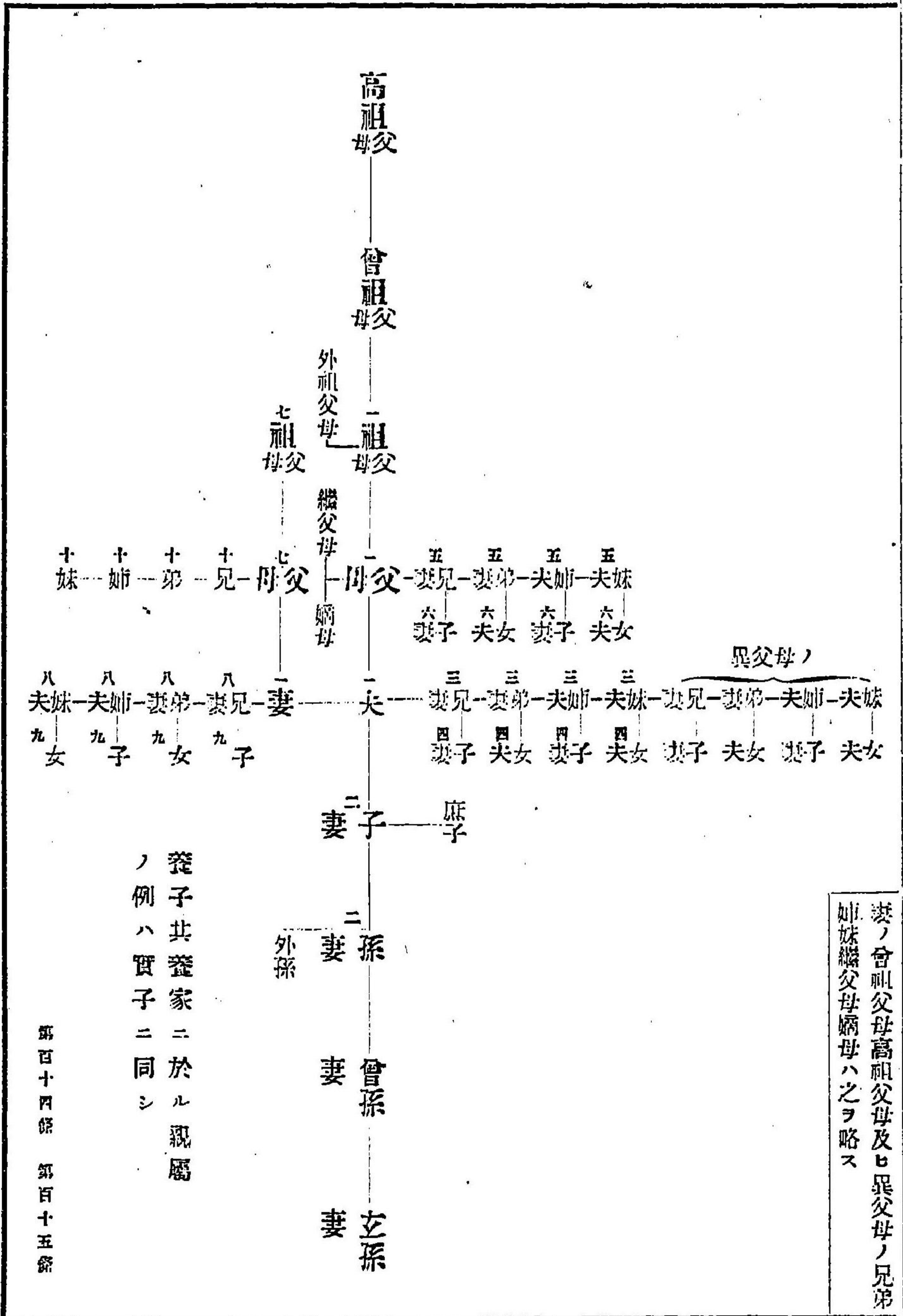
此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ云フ



第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

爲所ノ敬不	〇危 害ヲ加ヘ	
	天皇三后皇太子ニ對シテ 皇族ニ對シテタル者ハ	天皇三后皇太子ニ對シテ 皇族ニ對シテタル者ハ
皇族ニ對シテアル者ハ	天皇三后皇太子ニ對シテ 皇族ニ對シテタル者ハ	其〇ントシタル者ハ
此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ	二年以下ノ 監視	六月以上ノ 監視
皇族ニ對シテアル者ハ	二月以下ノ重禁錮ニ處シ 四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス	二年以下ノ重禁錮ニ處シ 二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
天皇三后皇太子ニ對シタル者ハ	五月以下ノ重禁錮ニ處シ 二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス	三月以下ノ重禁錮ニ處シ 二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
皇族ニ對シタル者ハ	無期徒刑	死刑
此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ	二百十條	二百十條
皇族ニ對シタル者ハ	二百十九條	二百十九條
天皇三后皇太子ニ對シタル者ハ	二百十七條	二百十七條
皇族ニ對シタル者ハ	二百十八條	二百十八條
此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ	二百二十條	二百二十條



妻ノ曾祖父高祖父母及ヒ異父母ノ兄弟姉妹繼父母嫡母ハ之ヲ略ス

養子共養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

第百十四條 第百十五條



第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝廷ヲ紊亂スルヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一首魁及ヒ教唆者ハ	死刑	ニ處ス
二群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ	無期 流刑	ニ處シ
其情輕キ者ハ	有期	ニ處ス
三兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ	重 禁獄	ニ處シ
其情輕キ者ハ	輕	ニ處ス
四救唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ	二年以上ノ輕禁錮 五年以下	ニ處ス 第百廿一條
内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ	已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ	第百廿二條

政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ

前三條ノ罪ハ	死刑	ニ處ス 第百廿三條
兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ	未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑 第百二十一條ノ例ニ照シ各一等	ヲ科ス 第百廿四條 ヲ減ス 第百廿五條
内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ	各二等	ヲ減ス 第百廿五條
内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ	本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視	ニ付ス 第百廿六條
内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者ハ	二年以上ノ輕禁錮 五年以下	ニ處ス 第百廿七條
内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ	通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ	處斷ス 第百廿八條



第二節 外患ニ關スル罪

外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ 第百二十九條	死刑	ニ處ス
交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都城要塞又ハ兵器彈藥艦艇其他軍需ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ 第百三十條	無期流刑	ニ處ス
本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險要ヲ敵國ニ通知シタル者ハ 第百三十一條	亦同シ	
敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者 第百三十二條	有期流刑	ニ處ス
陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其略奪ヲ收受シテ命令ニ背背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ 第百三十三條	一等又ハ二等	ヲ減ス
外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ 第百三十四條	六月以上ノ輕禁錮 百圓以上ノ罰金	ニ處シ ヲ附加ス
外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ背背シタル者ハ 第百三十五條	六月以上ノ監視	ニ付ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者 第百三十六條	首魁及ヒ教唆者	ハ	三月以上ノ重禁錮	ニ處ス
兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者 第百三十七條	首魁及ヒ教唆者	ハ	重懲役	ニ處ス
其嘯聚ニ應シ	煽動シテ勢ヲ助ケタル者	ハ	輕懲役	ニ處シ
	其情輕キ者	ハ	一等	ヲ減ス
	附和隨行者	ハ	二圓以上ノ罰金	ニ處ス
第百三十七條	シタル者	ハ	二圓以上ノ罰金	ニ處ス
暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ 第百三十八條	現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者	ヲ	死刑	ニ處ス
	情ヲ知テ制セサル者		亦同シ	



第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ	暴行	ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ	四月以下ノ重禁錮ニ處シ	第百三十九條
	脅迫	ヲ以テ其官吏ノ爲スハシメタル者亦	五十圓以上ノ罰金	第百三十九條
	前條ノ罪	ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ	同シ	第百三十九條
官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ	形容若クハ言語	ヲ以テ侮辱シタル者ハ	一月以上ノ重禁錮ニ處シ	第百四十條
其目前ニ非スト雖モ	刑行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說	ヲ以テ侮辱シタル者亦	五十圓以上ノ罰金	第百四十條
		同シ	同シ	第百四十二條

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

已決ノ囚徒	若シ	已決ノ囚徒	其刑期限内再ヒ	未決ノ囚徒	囚徒三人以上	囚徒ヲ	囚テ囚徒ノ	囚徒ヲ	若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒
	獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫シテ				追謀シテ	逃走セシムル爲メ兵器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ	劫奪シ又ハ暴行脅迫		
	シテ爲						囚徒ノ		
逃 走									
シタル者ハ	ト雖モ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	ヲ助ケタル者ハ	ニ係ル時ハ	
一月以下ノ重禁錮ニ處ス	三月以下ノ重禁錮ニ處ス	再犯	第百四十二條ノ例ニ照シテ各一等	三月以上ノ重禁錮ニ處ス	三月以下ノ重禁錮ニ處ス	二十圓以上ノ罰金	一年以下ノ重禁錮ニ處ス	五十圓以下ノ罰金	輕懲役
第百四十二條	第百四十二條	第百四十二條	第百四十二條	第百四十二條	第百四十二條	第百四十六條	第百四十六條	第百四十七條	第百四十七條



囚徒ヲ看守シ又ハ 護送スル者囚徒ヲ	前條ノ例ニ同シ	セシメタル 時ハ亦	未遂犯罪ノ例	ニ照シテ 處斷ス 第百四十九條	第百四十八條
前條ニ記載シタル	輕罪	ヲ犯サン トシテ	者ハ	未遂犯罪ノ例	第百四十九條
看守又ハ護送者其	懈怠	ニ囚リ囚 徒ノ	ヲ覺ラサル 時ハ	二十圓以上ノ 罰金	ニ處ス
若シ重罪ノ刑		ニ處セラレ タル囚徒	ニ係ル時ハ	三十圓以上ノ 罰金	ニ處ス 第百五十條
犯罪人又ハ逃走ノ 囚徒及ヒ監視ニ付 セラレタル者ナル トヲ知テ	之ヲ藏匿シ若 クハ隠避		セシメタル 者ハ	十一日以上ノ 輕禁錮 二十圓以上ノ 罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百五十一條
若シ重罪ノ刑		ニ處セラレ タル囚徒	ニ係ル時ハ	一 等	ヲ加フ 第百五十二條
他人ノ罪ヲ免カレ シメンコトヲ圖リ其 件ヲ隠蔽	罪設ト爲ル可キ物		シタル者ハ	十一日以上ノ 輕禁錮 二十圓以上ノ 罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百五十二條
前二條ノ 罪		ヲ犯シタ ル者	ニ係ル時ハ其	罪	ヲ論セス 第百五十三條

第四節 附加刑ノ執行ヲ通ル、罪

公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止 セラレタル者	私ニ其權ヲ行	ヒタル時ハ	一月以下ノ 重禁錮	ニ處シ
監視ニ付セラレタル者	其規則ニ違背	シタル時ハ	十二圓以上ノ 罰金	ヲ附加ス 第百五十條
前二條ノ罪ハ	其刑期限内再ヒ犯	シタル時ハ 非サレハ	十五日以上ノ 重禁錮	ニ處ス 第百五十五條
		再 犯	再 犯	ヲ以テ論ス ルコトヲ得ス 第百五十六條



第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

官命ヲ受ケヌ又ハ官許ヲ得スシテ	陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破製ノ物品ヲ製造	シタル者ハ	二年以下ノ重禁錮 二十圓以上ノ罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百五十七條
其	之ヲ輸入	シタル者	亦同シ	第百五十七條
前項ノ物品ヲ	私ニ販賣	シタル者ハ	一年以下ノ重禁錮 十圓以上ノ罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百五十七條
前條ノ罪ヲ犯スト雖モ	職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供	シタル者ハ	各本刑ニ照シ二等	ヲ減ス 第百五十八條
前二條ノ罪ヲ	犯サントシテ未タ遂	ケサル者ハ	未遂犯罪ノ例ニ照	シテ處斷ス 第百五十九條
第百五十七條ニ記載シタル	物品ヲ私ニ所有 物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供	シタル者ハ スヘキ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ	二十圓以上ノ罰金 二十圓以下	ニ處ス 第百六十條

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

道路橋梁河溝溝渠ヲ損壞シテ	往來ヲ妨害	シタル者ハ	二月以上ノ重禁錮 二十圓以上ノ罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百六十一條
偽計又ハ威力ヲ以テ	郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止	シタル者ハ	亦前條	ニ同シ 第百六十二條
電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ	電氣ヲ不通	ニ致シタル者ハ	三月以上ノ重禁錮 五十圓以上ノ罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百六十四條
若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ	電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通	ニ至ラサル時ハ	一 等	ヲ減ス 第百六十四條
瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メ	鉄道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙	ヲ爲シタル者ハ	重懲役	ニ處ス 第百六十五條
船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ	燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ照示	シタル者ハ	亦前條	ニ同シ 第百六十六條
前數條ニ記載シタル罪	其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯	シタル時ハ	各本刑ニ照シ一等	ヲ加フ 第百六十七條



第百六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ	人	ヲ	殺	傷	シタル者ハ	毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從	テ處斷ス <small>第百六十八條</small>					
第百六十五條第百六十六條ノ罪ヲ犯シ因テ	人	ヲ	死	ニ	致	無	期	徒	刑	ニ	處	シ
此節ニ記載シタル	輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂	ケサル者ハ	未	遂	犯罪ノ例ニ照	死	刑	ニ	處	ス	シテ處斷ス <small>第百七十條</small>	

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

竊	間	若	一	二	三	四	夜	若	故				
ハ人ノ看守シタル建造物ニ入	リタル者ハ	十一月以上ノ重禁錮	ニ	處	ス	第百七十二條	故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入	リタル者ハ	一年以下ノ重禁錮	ニ	處	ス	第百七十二條
左ニ記載シタル所爲	アル時ハ	一等	ヲ	加	フ	第百七十二條	加重ス可キ所爲	アル時ハ	一等	ヲ	加	フ	第百七十二條
門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時	兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帶シテ入りタル時	シタル者ハ	前二條ノ例ニ照シ各一等	ヲ	加	フ	三 暴行ヲ爲シテ入りタル時	二人以上ニテ入りタル時	第百七十二條				



第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫 其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄 若シ看守者自ラ犯	シタル者ハ 二月以上 二年以下	重 禁 錮	ニ 處 ス
官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取 シ又ハ毀壞	シタル者ハ 一 等	一 等	ヲ 加 フ 第百七十四條
看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ 其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺	シタル時ハ 二十圓以上 二十圓以下	罰 金	ニ 處 ス 第百七十五條
	シタル時ハ	罰 金	ニ 處 ス 第百七十六條

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要 求スル權アル官署ヨリ其要求 ヲ受ケ	故ナクシテ之ヲ肯	セサル時ハ	二月以上 二年以下	輕 禁 錮	ニ 處 ス 第百七十七條
陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可 キ者	身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲 シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免 役ヲ關リ	リタル時ハ	一月以上 一年以下	重 禁 錮	ニ 處 ス ヲ 附 加 ス
若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐 稱シ	代テ	セシメタル者	亦	亦	同 シ
其囑託ヲ受ケテ	徵募ニ應	シタル者ハ	第二百三十一條ノ例ニ照		シテ處斷ス 第百七十八條
醫師化學家其他職業ニ因リ官 署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ	命セラレタル者故 ナクシテ之ヲ肯	セサル時ハ	四圓以上 四十圓以下	罰 金	ニ 處 ス 第百七十九條
裁判所ヨリ證人トシテ 證據	命セラレタル者故 ナクシテ之ヲ肯	セサル時ハ	亦 前 條	亦 前 條	ニ 同 シ 第百八十條
傳染病流行ノ際又ハ傳 染病ノ疑アル船舶入港 スルニ當リ醫師其病態 ヲ検査シ又ハ消毒ノ方 法ヲ	命セラレタル者故 ナクシテ之ヲ肯	セサル時ハ	五圓以上 五十圓以下	罰 金	ニ 處 ス
獸類傳染病流行ノ際獸醫	此條ノ罪ヲ犯	シタル時ハ	一 等	一 等	ヲ 減 ス 第百八十一條



第四章 信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

若シ偽造ノ器械ヲ準備シテ	前條ニ記載シタル貨幣ノ		若シ	内國通用ノ銅貨ヲ	官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ	若シ	内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ	若シ	内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ
	偽造	變造							
未タ著手	其未タ成	已ニ成テ未タ行使	シテ行使						
セサル者ハ	ラサル者ハ	セサル者ハ	シタル者ハ						
各	各	各	無期徒刑	輕懲役	有期徒刑	二年以下 五年以上 重禁錮	内國ノ區別ニ照從 前條ノ例ニ照從	輕懲役	無期徒刑
ヲ減ス 第百八十六條	ヲ減ス 第百八十五條	ヲ減シ 第百八十三條	ニ處ス 第百八十二條						

若シ職工ノ補助ヲ爲シテ	貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ	偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入	偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ取受シ	其未タ	前條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處	貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受	若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與	貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルヲ知リ之ヲ	行使	シタル者ハ	下但ニ其罰金トシテ	二倍ノ額	罰金	得ス 第百九十三條
セサル者ハ	セサル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	スル者ハ	シタル時ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	各	二年以下 六年以上	本刑	本刑	ニ付ス 第百九十一條	
各	各	各	各	各	各	各	各	各	各	各	各	各	各	
ヲ減ス 第百八十七條	ヲ減ス 第百八十八條	ニ同シ 第百八十九條	ヲ減ス 第百九十條	ヲ減ス 第百九十一條	ニ付ス 第百九十二條	ニ付ス 第百九十三條	ニ付ス 第百九十四條	ニ付ス 第百九十五條	各	各	各	各	各	



第二節 官印ヲ偽造スル罪

御璽國璽ヲ	各官署ノ印ヲ	偽造シ又ハ其偽	璽ヲ	使用	シタル者ハ	無期徒刑	第百九十四條
	産物商品 等ニ押用 スル官ノ 記號印章 ヲ	ハ其偽	印ヲ	使用	シタル者ハ	懲役	第百九十五條
御璽國璽官印記號印章ノ影贋ヲ盗用	若シ	監守者自ラ犯	シタル時ハ	偽造ノ	刑	無期徒刑	第百九十四條
官ヨリ發行スル各種ノ印 紙及ヒ郵便切手ヲ	官ヨリ發行スル各種ノ印 紙及ヒ郵便切手ヲ	偽造製造シ又ハ其 情ヲ知テ之ヲ	使用	シタル者ハ	一年以上 五年以下 重禁錮	懲役	第百九十五條
已ニ貼用シタル各種ノ印 紙及ヒ郵便切手ヲ	再ヒ貼用	ケサル者ハ	シタル者ハ	五年以上 十圓以上 罰金	懲役	第百九十五條	
此節ニ記載シタル	輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂 罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處	ケサル者ハ	スル者ハ	未遂犯罪ノ例ニ照	監視	第百九十六條	

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換	其	詔書ヲ毀棄	シタル者ハ	無期徒刑	第百九十七條
官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使	其	官ノ文書ヲ毀棄	シタル者ハ	輕懲役	第百九十八條
公債證書地券其他官吏 ノ公證シタル文書ヲ	若シ	無記名ノ公債證書ニ係 其官署ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ 増減變換シテ行使	ル時ハ	輕懲役	第百九十九條
官吏	其	文書ヲ毀棄	シタル者ハ	亦	第百九十九條
官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ	其	官印ヲ偽造シ又ハ盗用	シタル者ハ	亦	第百九十九條
此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ	減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處	スル者ハ	六月以上 二年以下	監視	第百九十九條



第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

他人ノ私印ヲ	偽造シテ使用	シタル者ハ	六月以上 五年以下 重禁錮 五十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
若シ他人ノ印影ヲ	盗用	シタル者ハ	一月以上 重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス
爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス 可キ證書若クハ金額ト交換ス可 キ約定手形ヲ	偽造シ又ハ附 減變換シテ	シタル者ハ	四月以上 重禁錮 四十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
其手形證書ニ詐僞ノ裏書 ヲ爲シテ	行使	シタル者ハ	一月以上 重禁錮 二十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
賣買貸借贈遺交換其他權利義務 ニ關スル證書ヲ	行使	シタル者ハ	四月以上 重禁錮 四十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
其餘ノ私書ヲ	行使	シタル者ハ	一月以上 重禁錮 二十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
此節ニ記載シタル	輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂 罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處	ケサル者ハ	未遂犯罪ノ例ニ照	シテ處斷ス 第百一十一條
		スル者ハ	六月以上 二年以下 監視	ニ付ス 第百一十二條

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

官ノ免狀又ハ鑑札ヲ	偽造シテ行使	シタル者ハ	一月以上 重禁錮 四十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
但官印ヲ	偽造シ又ハ盗用	シタル時ハ	偽造官印ノ各本條ニ照	シテ處斷ス 第百一十三條
屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐僞 ノ所爲ヲ以テ	免狀鑑札ヲ受	ケタル者ハ	十五日以上 六月以下 重禁錮 二十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
官吏情ヲ知テ	其免狀鑑札ヲ下付	シタル者ハ	一月以上 重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス
公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏 名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ	偽造シテ行使	シタル者ハ 自己ノ爲 メニシ他 人ノ爲ニ タル者ハ ハタル者ハ	一月以上 重禁錮 三十圓以上 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
醫師	囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書 ヲ造	シタル者ハ	前條 ノ例 ニ照 シ各照	ニ加フ 第百十五條
陸海軍ノ艦兵ヲ免カル可キ爲メ 疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタ ル者及ヒ		醫師ハ	前條 ノ例 ニ照 シ各照	ニ加フ 第百十六條
免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使		シタル者ハ亦	偽造 ノ刑	ニ同シ 第百十七條



第六節 偽證ノ罪

○ 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者  
 被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ  
 △ 被告人ヲ陷害スル爲メ

偽證爲シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス  
第二百十八條  
 第二百二十條

一△ 重	○ 罪ヲ曲庇スル	○ 二月以上 ○ 二年以下 △ 二年以上 △ 五年以下	○ 四圓以上 ○ 四十圓以下 △ 十圓以上 △ 五十圓以下	○ 罰金ヲ附加ス
二△ 輕	△ 罪ニ陥ラシムル	○ 一月以上 ○ 一年以下 △ 六月以上 △ 二年以下	○ 二圓以上 ○ 二十圓以下 △ 四圓以上 △ 四十圓以下	
三△ 違警		△ 一月以上 △ 三月以下	△ 二圓以上 △ 十圓以下	

偽證ノ爲メ被告人	正當ノ刑ヲ免	カレタル時ハ	偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各	一等	ヲ加フ <small>第二百十九條</small>
	後刑ニ處セラレタルニ於テ	シタル時ハ	ヲ共設者	刑	ニ反坐ス <small>第二百二十一條</small>
若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑		ヨリ輕キ時ハ	前條ノ例ニ照		シテ處斷ス <small>第二百二十一條</small>

其刑期限内ニ於テ	偽證ノ爲メ被告人	死刑ニ處	シタル時ハ	現ニ經過シタル日數ニ照シテ 反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得 但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得ス	第二百十一條
其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ	發覺	死刑ニ處	セラレタル時ハ	ノ反坐	一等
若シ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ	偽證ヲ爲	發覺	シタル時ハ	一	等
其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ	發覺	發覺	シタル時ハ	死	刑
民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ	偽證ヲ爲	發覺	シタル者ハ	一	等
鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者	詐僞ノ陳述ヲ爲	發覺	シタル時ハ	一月以上 一年以下 重禁錮 五十圓以上 五十圓以下 罰金	ニ處シ ヲ附加ス <small>第二百十三條</small>
賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ	偽證又ハ詐僞ノ鑑定通事ヲ爲	發覺	サシメタル者ハ	前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照	シテ處斷ス <small>第二百十四條</small>
此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判官告ニ至ラサル前ニ於テ	自首	發覺	シタル時ハ	亦偽證ノ例	ニ同シ <small>第二百十五條</small>
				本刑	ヲ免ス <small>第二百十六條</small>



第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

度量衡ヲ	偽造シ又ハ製造シテ販賣	シタル者ハ	二年以上 五年以下 十圓以上 五十圓以下	重禁錮 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
但官ノ記號印章ヲ	偽造シ又ハ盗用	シタル時ハ	偽造官印ノ各本條 ニ照シテ	重禁錮 罰金	テ處斷ス 第百二十七條
偽造製造ノ情ヲ知テ	其度量衡ヲ販賣	シタル者ハ	前條 ノ刑ニ	等	ヲ減ス 第百二十八條
商賣工定規ヲ増減シタル	度量衡ヲ所有	シタル者ハ	一月以上 三月以下 二圓以上 二十圓以下	重禁錮 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
若シ其度量衡ヲ使用シテ	利ヲ得	タル者ハ	詐欺取財	等	ヲ以テ論ス 第百二十九條
人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ	偽造シ又ハ製造	シタル者ハ	其囑託シタル犯人ノ刑 ニ照シテ各	等	ヲ減ス 第百三十條

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ	屬籍身分氏名年齢職業ヲ詐稱	シタル者ハ	二圓以上 二十圓以下	罰金	ニ處ス 第百三十一條
	官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾 徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ僭用	シタル者ハ	十五日以上 二月以下 二圓以上 二十圓以下	輕禁錮 罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第百三十二條

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

公選ノ投票ヲ	偽造シ又ハ其數ヲ増減	シタル者ハ	一月以上 一年以下	二圓以上 二十圓以下	第百三十三條
賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲	其投票ヲ偽造シ又ハ増減	シタル時ハ	二月以上 二年以下	三圓以上 三十圓以下	第百三十四條
投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル者	其數ヲ増減シ其他詐僞ノ所爲	アル時ハ	六月以上 三年以下	四圓以上 四十圓以下	罰金ヲ附加ス 第百三十五條
圖書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者			一年以上 五年以下	五圓以上 五十圓以下	第百三十六條



第五章 健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪

阿片烟ヲ吸食スル爲メ 人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ 及ヒ吸食ノ器 具ヲ	ヲ	所有シ又ハ受寄	シタル者ハ	一年以下 重禁錮	第二百四十二條
	吸食	吸食	シタル者ハ	二年以下 重禁錮	第二百四十二條
阿片烟ヲ吸食スル爲メ	稅關官吏情ヲ知テ	房屋ヲ給與シテ利ヲ圖	ル者ハ	輕懲役	ニ處ス
阿片烟ヲ	阿片烟及ヒ此器具ヲ輸入	輸入シ及ヒ製造シ又ハ 之ヲ販賣	セシメタル 者ハ	前二條ノ刑 ニ照シ各一 等	ヲ加フ 第二百三十九條
阿片烟ヲ	輸入シ及ヒ製造シ又ハ 之ヲ販賣	輸入シ及ヒ製造シ又ハ 之ヲ販賣	シタル者ハ	輕懲役	ニ處ス
阿片烟ヲ	輸入シ及ヒ製造シ又ハ 之ヲ販賣	輸入シ及ヒ製造シ又ハ 之ヲ販賣	シタル者ハ	有期徒刑	第二百三十七條

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ	汚穢シ因テ之ヲ用フル 丁能ハサルニ至	ラシメタル 者ハ	十一月以上 重禁錮	ニ處シ
人ノ健康ヲ害ス可キ物品 ヲ用ヒテ	水質ヲ變シ又ハ腐敗	セシメタル 者ハ	一年以下 重禁錮	ニ處シ
前條ノ罪ヲ犯シ	因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致	シタル者ハ	毆打創傷ノ各本條ニ照 シ重キニ從	テ處斷ス 第二百四十五條



第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

傳染病豫防ノ爲メ設ケタル		規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬		シタル者ハ	一月以上 一年以下 又ハ 二十圓以上 二百圓以下	罰金	ニ處ス 第百四十六條
船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スコトヲ知テ制		セサル者ハ	前條ノ刑ニ	等	ヲ加フ	第百四十七條	
傳染病	流行ノ際豫防規	流行地方ヨリ	タル者ハ	十五日以上 六月以下 又ハ 十圓以上 百圓以下	輕禁錮	金	シ 第百四十八條
獸類ノ	則ニ違背シテ	他處ニ出	シタル者ハ	十一月以上 二月以下 又ハ 五圓以上 五十圓以下	輕禁錮	金	シ 第百四十九條
傳染病							

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造規則ニ關スル罪

官許ヲ得スシテ	危害ヲ生	ス可キ物品ノ製	シタル者ハ	二十圓以上 二百圓以下	罰金	ニ處ス	
若シ	健康ヲ害	造所ヲ創設	シタル者ハ	十圓以上 百圓以下		第百五十條	
官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ	危害ヲ豫防シ健康ヲ	保護スル規則ニ違背	前條ノ例ニ照シテ各	一	等	ヲ減ス	第百五十一條
前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致			シタル時ハ	過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從		テ處斷ス	第百五十二條



第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ	飲食物ニ混和シテ	販賣	シタル者ハ	三圓以上 三十圓以下	罰 金	二百五十三條
規則ニ違背シテ	毒藥劇藥ヲ			十圓以上 百圓以下		二百五十四條
前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致				過失殺傷ノ各本條ニ照 シ重キニ從		テ處斷ス 二百五十五條

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

官許ヲ得スシテ	醫業ヲ爲	シタル者ハ	十圓以上 百圓以下	罰 金	ニ處ス 二百五十六條
前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ	因テ人ヲ死傷ニ致	シタル時ハ	過失殺傷ノ各本條ニ照 シ重キニ從		テ處斷ス 二百五十七條

第六章 風俗ヲ害スル罪

公然	猥褻ノ所行ヲ爲	シタル者ハ	三圓以上 三十圓以下	罰 金	二百五十八條
風俗ヲ害スル册子圖畫 其他猥褻ノ物品ヲ	公然陳列シ又ハ販賣	シタル者ハ	四圓以上 四十圓以下	罰 金	二百五十九條
賭場開張シテ	利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結	シタル者ハ	三月以上 一年以下 十圓以上 百圓以下	重禁錮 罰 金	ニ處シ ヲ附加ス 二百六十條
財物ヲ賭シテ	現ニ博奕ヲ爲	シタル者ハ	一月以上 六月以下 五圓以上 五十圓以下	重禁錮 罰 金	ニ處シ ヲ附加ス
其情ヲ知テ	房屋ヲ給與	シタル者ハ	一月以上 六月以下 五圓以上 五十圓以下	重禁錮 罰 金	ニ處シ ヲ附加ス
賭博ノ器具財物其現場ニ在		ル者ハ	但飲食物ヲ賭スル者ハ此 之ヲ	同シ	限ニ在ラス 沒收ス 二百六十一條
財物ヲ藏集シ	富籤ヲ以テ利益ヲ機倖ス ルノ業ヲ興行	シタル者ハ	一月以上 六月以下 五圓以上 五十圓以下	重禁錮 罰 金	ニ處シ ヲ附加ス 二百六十二條
神廟佛堂幕所其他禮拜 所ニ對シ	公然不敬ノ所爲	アル者ハ	二十圓以上 四十圓以下	罰 金	ニ處ス
若シ	說教又ハ禮拜ヲ妨害	シタル者ハ	四十圓以上	罰 金	二百六十三條



第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

埋葬ス可キ死屍ヲ	毀棄	シタル者ハ	一年以上重禁錮 二十圓以下	ニ處シ ヲ附加ス 第二百六十四條
墳墓ヲ	發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見	ハシタル者ハ	二月以上重禁錮 三十圓以下	ニ處シ ヲ附加ス
因テ死屍ヲ	毀棄	シタル者ハ	三月以上重禁錮 五十圓以上 五十圓以下	ニ處シ ヲ附加ス 第二百六十五條
此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂		ケサル者ハ	未遂犯罪ノ例ニ照	シテ處斷ス 第二百六十六條

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

偽計又ハ威力ヲ以テ殺類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ	前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ	賣買ヲ	一月以上重禁錮 三十圓以下	ニ處シ ヲ附加ス
	偽計又ハ威力ヲ以テ	羅賣又ハ入札ヲ	一 十五日以上重禁錮 三月以下	ヲ附加ス 第二百六十七條
農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ	雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ	偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲	亦 一月以上重禁錮 六月以下	ニ處シ
			亦 三十圓以上 三十圓以下	ヲ附加ス 第二百七十條
虚偽ノ風説ヲ流布シテ殺類其他衆人需用物品ノ價値ヲ	昂低	セシメタル者ハ	十圓以上 百圓以下	ニ處ス 第二百七十二條



第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

官吏其官掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ	妨害	シタル者ハ	六月以上 二十圓以下	輕 禁 錮 金	ニ 處 シ
兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ擴張ス可キ時ニ當リ	共處分 ヲ爲	サ、ル者ハ	三月以上 百圓以下	輕 禁 錮 金	ニ 處 シ
官吏規則ニ違背シテ	商業	シタル者ハ	二十圓以上 五百圓以下	罰 金	ヲ 附 加 ス 第百七十五條

第二節 官吏人民ニ對スル罪

官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ	妨害	シタル者ハ	十一月以上 二十圓以下	輕 禁 錮 金	ニ 處 シ
人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢察官吏其報告ヲ受ケテ	逃ニ保護ノ處分ヲ爲	サ、ル者ハ	十五日以上 二十圓以下	輕 禁 錮 金	ヲ 附 加 ス 第百七十六條
逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セスシテ	人ヲ逮捕シ又ハ不正 ニ人ヲ監禁	シタル者ハ	十五日以上 二十圓以下	重 禁 錮 金	ニ 處 シ
司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ	之ヲ放免	セサル者ハ	但監禁日數十日ヲ過ルル毎ニ	亦前條ノ例	ニ 同 シ 第百七十八條
前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者	囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施	シタル者ハ	三月以上 四十圓以下	重 禁 錮 金	ニ 處 シ
囚人	囚人ヲ死傷ニ致	シタル時ハ	毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從	罰 金	ヲ 附 加 ス 第百七十九條



水火震災ノ際官吏囚人ノ 監禁ヲ解クコトヲ認リ因テ	死傷ニ致	シタル者ハ	毆打創傷ノ各 本條ニ照シ	一 等	ヲ加フ 第百八十一條
裁判官檢察官及ヒ警察官吏 爲	被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシム ル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所 爲	アル者ハ	四月以上 五年以下 重禁錮 五十圓以上 五十圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス
因テ	被告人ヲ死傷ニ致	シタル時ハ	毆打創傷ノ各本條ニ照シ一 等ヲ加ヘ重キニ從	輕禁錮	テ處斷ス 第百八十二條
裁判官檢察官	故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受理セス 又ハ遷延シテ審理	セサル者ハ	十五日以上 三月以下 輕禁錮 五十圓以上 五十圓以下 罰金	罰金	ニ處シ ヲ附加ス
其	民事ノ訴ニ係	ル者	亦	亦	同シ 第百八十三條
官吏	人ノ囑託ヲ受ケテ賄賂ヲ收受シ 又ハ之ヲ聽許	シタル者ハ	一月以上 一年以下 重禁錮 四十圓以上 四十圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス
因テ	不正ノ處分ヲ爲	シタル時ハ	一 等	一 等	ヲ加フ 第百八十四條
裁判官民事ノ裁判ニ關シテ	賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許	シタル者ハ	二月以上 二年以下 重禁錮 五十圓以上 五十圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス
因テ	不正ノ裁判ヲ爲	シタル時ハ	一 等	一 等	ヲ加フ 第百八十五條

裁判官檢察官官吏賄賂ヲ 收受聽許セスト雖モ	情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サミ被 告人ヲ曲庇陷害	シタル者ハ	亦前條ノ例	之	其價	ヲ沒收シ 第百八十七條
若シ枉斷シタル所ノ刑此ノ刑ヨリ重	キ時ハ	シタル者ハ	第二百二十一條ノ例ニ照 第二百二十二條	二月以上 二年以下 重禁錮 五十圓以上 五十圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス 第百八十六條
其	被告人ヲ	シタル者ハ	三月以上 三年以下 重禁錮 十圓以上 百圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス	
因テ	曲庇	シタル者ハ	二年以上 五年以下 重禁錮 二十圓以上 二十圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス	
裁判官檢察官官吏刑事ノ 裁判ニ關シテ	賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許	シタル者ハ	二月以上 二年以下 重禁錮 五十圓以上 五十圓以下 罰金	重禁錮	ニ處シ ヲ附加ス	
前數條ニ記載シタル	賄賂已ニ	費用	亦前條ノ例	之	其價	ヲ沒收ス 第百八十八條



第三節 官吏財産ニ對スル罪

官吏自ラ	監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取	シタル者ハ	輕懲役	ニ處ス
因テ	官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄	シタル時ハ	第二百五條ノ例ニ照	シテ處斷ス 第二百八十九條
租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏	正數外ノ金穀ヲ徵收	シタル者ハ	二月以上 四年以下 重禁錮 五圓以上 五十圓以下 罰金	ニ處シ ヲ附加ス 第二百九十條
此箇ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ		スル者ハ	六月以上 二年以下 監視	ニ付ス 第二百九十二條

第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

豫メ謀テ	毒物ヲ施用シテ	故意ヲ以テ	支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ	重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カルハ爲メ	人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ	其豫メ	謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺
人ヲ殺	人ヲ殺	人ヲ殺	人ヲ殺	死ニ致	謀	謀	
シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ	シタル者ハ
謀	故	謀	故	謀	故	謀	故
ノ罪ト爲シ	ヲ以テ論シ	ノ罪ト爲シ	ヲ以テ論シ	ヲ以テ論ス	ヲ以テ論ス	ヲ以テ論ス	ヲ以テ論ス
死刑	無期徒刑	死刑	無期徒刑	死刑	死刑	死刑	死刑
第二百九十二條	第二百九十三條	第二百九十四條	第二百九十五條	第二百九十六條	第二百九十七條	第二百九十八條	第二百九十九條



第二節 殴打創傷ノ罪

人ヲ殴打創傷シ	因テ死ニ致	其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷チ陰陽ヲ敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シ	シタル者ハ	二年以上 五年以下	輕	二百九十九條
其	一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘廢シ癡疾ニ致	二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ営ムコト能ハサルニ至	シタル者ハ	一年以上 三年以下	重	二百
人ヲ殴打創傷シ	休業ノ時間二十日ニ至	身體ニ創傷ヲ成	ラサル者ハ	一月以上 十一月以下	重禁錮	三百一
其疾病	疾病休業ニ至ラスト雖モ	休業癡篤疾又ハ死ニ致	シタル者ハ	一月以上 十一月以下	重禁錮	三百一
豫メ謀テ人ヲ殴打創傷シ	重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又已ニ犯シテ其罪ヲ免カルハ爲メ	人ヲ毆打	シタル者ハ	亦前條ノ例	一 等	三百二條
毆打ニ因リ	誤テ他人ヲ	創傷	シタル者ハ	仍ホ毆打 創傷ノ	本 刑	三百四條

二人以上共ニ	人ヲ毆打創傷	現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ	ヲ科ス
若シ	共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルコト能	其重傷ノ刑ニ照シ但教唆者ハ減等ノ限	ヲ減ス
二人以上共ニ	人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成	現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ	ヲ減ス
健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ	人ヲ疾苦	豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照	シテ處斷ス
人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ	詐稱誘導シテ危害ニ陥レ因テ疾病死傷ニ致	毆打創傷	ヲ以テ論ス

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不諭罪

自己ノ身體ニ暴行ヲ受ルニ因リ直チニ怒ヲ發シ	暴行	人ヲ殺傷	シタル者ハ	其罪	ヲ宥恕ス
但不正ノ所爲ニ因リ自ラ	ヲ招	ハサル者ハ	シタル者ハ	此限	ニ在ラス
毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ知ルコト能	各	ハサル者ハ	シタル者ハ	其罪	ヲ宥恕ス
本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷				其罪	ヲ宥恕ス



但本夫先ニ	後通ヲ縱容	シタル者ハ	此	ニ在ラス 第三百十二條
書問故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ	之ヲ殺傷	シタル者ハ	其	ヲ宥恕ス 第三百十二條
前數條ニ記載シタル	宥恕ス可キ	罪ハ	各本	ヲ減ス 第三百十三條
身體生命ヲ正當ニ防衛シ	已ムコトヲ得サルニ出テ	シタル者ハ 自己ノ爲ニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス	二等又ハ三等	ヲ論セス 第三百十四條
但不正ノ所爲ニ因リ自ラ	暴行	キタル者ハ	此	ニ在ラス 第三百十四條
左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷	人ヲ殺傷	シタル者ハ	其	ヲ論セス
○ 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止	ヲ招	シタル者ハ	其	ヲ論セス
○ 盜犯ヲ防止シ又ハ盜贖ヲ取還	スルニ出タル時	夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時	此	ヲ論セス 第三百十五條
身體財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ムコトヲ得サルニ非スシテ	害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ	不論罪ノ限	其	ヲ宥恕スルコトヲ得 第三百十六條
但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例	ニ照シ	其	罪	ヲ宥恕スルコトヲ得 第三百十六條

第四節 過失殺傷ノ罪		過失ニ因テ人ヲ創傷シ	疾病休業ニ	至	ラシメタル者ハ	二十圓以上 二百圓以下	第三百十七條
疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス	過失ニ因テ人ヲ死ニ	廢篤疾ニ	致	シタル者ハ	十圓以上 百圓以下	罰金	ニ處ス 第三百十八條
過失ニ因テ人ヲ創傷シ	疾病休業ニ	至	ラシメタル者ハ	二十圓以上 五十圓以下	罰金	ニ處ス 第三百十九條	第三百十九條

第五節 自殺ニ關スル罪		人ヲ教唆シテ	自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下	シタル者ハ	六月以上 三年以下	輕禁錮	ニ處シ
其他自殺ノ	補助ヲ爲	自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ	自殺	セシメタル者ハ	五十圓以上 五十圓以下	罰金	ヲ附加ス
自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ	自殺	補助ヲ爲	自殺	セシメタル者ハ	重懲役	ニ處ス 第三百二十一條	第三百二十一條



第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

擅ニ人ヲ		逮捕シ又ハ私家ニ監禁	
前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ	疾病	監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施	シタル者ハ
擅ニ人ヲ	監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クヲ怠リ因テ	死傷ニ致	
亦前條ノ例	毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從	二月以上 三月以上 三十圓以下	十一月以上 二月以下 二十圓以下
		但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等	
		テ處斷ス	ヲ附加ス
		ヲ附加ス	ヲ附加ス
		ニ同シ	ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

人ヲ殺サント	脅迫シ	人ノ住居シタル家	ニ處シ
毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント	又ハ	財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠	ヲ附加ス
兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯	シタル者ハ		ヲ附加ス
親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫	亦前二條ノ例	各一等	ヲ附加ス
此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ	其罪		ヲ附加ス



第八節 墮胎ノ罪

懷胎ノ婦女	藥物其他ノ方法ヲ以テ	墮胎	シタル者ハ	一月以上 六月以下	重禁錮	ニ處ス 第三百三十條
	因テ婦女ヲ	死ニ致	ハセシメタル者	亦前條	ニ同シ	
醫師穩婆又ハ藥商	前條ノ罪ヲ犯	死ニ致	シタル者ハ	一年以上 三年以下	重禁錮	ニ處ス 第三百三十一條
	懷胎ノ婦女	威逼シ又ハ誑騙シテ	ハセシメタル者	各一等	フ加フ 第三百三十二條	
其	ナルコトヲ知テ	毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ	ハシメタル者	重禁錮	ニ處ス 第三百三十三條	
	墮胎セシムルノ意ニ出	墮胎ニ至	タル者ハ	輕懲役	ニ處ス 第三百三十四條	
前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癡篤疾又ハ死ニ致			シタル者ハ	毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ	テ處斷ス 第三百三十五條	

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

八歳ニ滿サル	幼者	遺棄	シタル者	一月以上 一年以下	重禁錮	ニ處ス 第二百二十六條
	自ラ生活スルコト能サル					
八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ	寡獨無人ノ地ニ		シタル時ハ	各一等	ヲ加フ 第二百二十八條	
給料ヲ得テ人ノ容託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯			シタル者ハ	輕懲役	ニ處シ	
幼者老疾者ヲ遺棄シ	囚テ癡	疾ニ致	シタル者ハ	重懲役	ニ處シ	
自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルコトヲ知テ之ヲ	死	又ハ	セサル者ハ	有期徒刑	第三百二十九條	
若シ	疾病ニ罹リ昏倒スル者アルコトヲ知テ	扶助セス	セサル者	十五日以上 六月以下	重禁錮	ニ處ス



第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

其誘拐シテ	十二歳ニ 滿サル幼者 ヲ略取シ	又ハハ 誘拐 シテ	自ラ藏匿シ若ク ハ他人ニ交付 シタル者ハ	二年以上 五年以下 十圓以上 百圓以下	重 禁 錮 金	ニ處シ
	十二歳			一年以上 三年以下 五圓以上 五十圓以下	重 禁 錮 金	ニ處シ
	以上二十歳ニ			六月以上 二年以下 二圓以上 二十圓以下	重 禁 錮 金	ニ處シ
略取誘拐シタル幼者ナルコトヲ知テ	自己ノ家屬僕婢ト爲シ又ハ其 他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受	ヲ待テ	其罪	一 等	ヲ處ス	第三百四十三條
前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴	但略取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲	シタル時ハ	告訴ノ	輕 懲 役	ヲ附加ス	第三百四十四條
二十歳ニ滿サル幼者ヲ	略取誘拐シテ外國人ニ交付	シタル者ハ	輕 懲 役	輕 懲 役	ニ處ス	第三百四十五條

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

十二歳	ニ滿 サル	男女ニ對シ猥 褻ノ所行ヲ爲 シ又ハ十二歳 以上ノ	男女ニ對シ暴行脅迫ヲ 以テ猥褻ノ所行ヲ爲	強姦	シタル者ハ	一月以上 一年以下	重 禁 錮 金	ニ處シ	
		以上ノ婦女ヲ	強姦	輕 懲 役		二月以上 二年以下	重 禁 錮 金	ニ處シ	
		十二歳ニ滿サル幼女ヲ	強姦	輕 懲 役		四月以上 四十圓以下	罰 金	ヲ附加ス	第三百四十七條
若シ	十二歳ニ滿サル幼女ヲ	強姦	強姦	強姦	シタル者ハ	二年以上 三年以下	重 懲 役	ヲ附加ス	第三百四十九條
藥酒等ヲ用ヒ	強姦	強姦	強姦	輕 懲 役		四月以上 四十圓以下	罰 金	ヲ附加ス	第三百四十八條
ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴	強姦	強姦	強姦	輕 懲 役		二年以上 二年以下	重 懲 役	ヲ附加ス	第三百五十條
前數條ニ記載シタル罪	ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴	ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致	ヲ待テ	ヲ待テ	シタル者ハ	其罪	輕 懲 役	ヲ附加ス	第三百五十一條











此節ニ記載シタル 輕	水火震災其他ノ變ニ乘シテ	竊盜ノ 犯	五年以下重禁錮	ニ處ス	第三百六十七條
	門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り		亦前條	ニ同シ	第三百六十八條
	二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ		各一等	ヲ加フ	第三百六十九條
	兇器ヲ携帯シテ 人ノ住居 シタル邸 宅ニ入り		輕懲役	ニ處ス	第三百七十條
此節ニ記載シタル 輕	自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ	竊 取	竊盜	ヲ以テ論ス	第三百七十一條
	田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ		亦前條	ニ同シ	第三百七十二條
	山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル		亦前條	ニ同シ	第三百七十三條
	牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ		亦前條	ニ同シ	第三百七十四條
此節ニ記載シタル 輕	サントシテ未タ遂	竊盜ノ 犯	未遂犯罪 ノ例ニ照	シテ處斷ス	第三百七十五條
	ケサル者ハ		未遂犯罪 ノ例ニ照	シテ處斷ス	第三百七十五條
	シタル者ハ		未遂犯罪 ノ例ニ照	シテ處斷ス	第三百七十五條
	ケサル者ハ		未遂犯罪 ノ例ニ照	シテ處斷ス	第三百七十五條

祖父父母夫妻孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ	其	竊盜	ヲ以	論スルノ限	ニ在ラス
若シ他人共ニ犯シテ		分チ			論ス
		タル者ハ			第三百七十七條

第二節 強盜ノ罪

人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ	強取	シタル者ハ	強盜ノ 罪ト爲	輕懲役	ニ處ス	第三百七十八條
強盜左ニ記載シタル情狀		アル者ハ	一個	一	ヲ加フ	
○ 二人以上共ニ犯シタル時			強盜ヲ 携帶シテ 犯シタル時	輕懲役	ニ處ス	第三百七十九條
強盜人ヲ	傷			無期徒刑	ニ處ス	第三百八十條
死ニ	致			死刑	ニ處ス	第三百八十一條
強	強姦	シタル者ハ		無期徒刑	ニ處ス	第三百八十二條
竊	財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ			強盜	ヲ以テ論ス	第三百八十三條
強盜ノ 罪ト爲	臨時暴行脅迫ヲ爲			強盜	ヲ以テ論ス	第三百八十三條
強盜ノ 罪ト爲	人ヲ醉迷セシメ其財物ヲ盜取	スル者ハ		強盜	ヲ以テ論ス	第三百八十三條
此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處				監 視	ニ付ス	第三百八十四條



第三節

遺失物理藏物ニ關スル罪

遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾 得テ	シ所有主ニ還付セス又 ハ官署ニ申告	セサル者ハ	十一月以上 三月以下 重禁錮 又ハ 二十圓以上 二十圓以下 罰金	ニ處ス 第三百八十五條
他人ノ所有地内ニ於テ埋藏 物品ヲ掘		シタル者ハ	亦前條	ニ同シ 第三百八十六條
此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者	第三百七十七條ニ掲ケタル 親屬ニ係	ル時ハ	其罪	ヲ論セス 第三百八十七條

第四節

家資分散ニ關スル罪

家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏 シ又ハ	虚偽	負債ヲ増加 契約ヲ承諾シ若ク ハ其媒介ヲ爲	二月以上 四年以下 重禁錮	ニ處ス 第三百八十八條
情ヲ知テ			一 等	ヲ減ス 第三百八十九條
家資分散ノ際隠蔽簿ノ類ヲ藏匿毀 棄シ若クハ分散決定ノ後債主中 ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償 シテ	他ノ債主ヲ害	シタル者ハ	一月以上 二年以下 重禁錮	ニ處ス 第三百八十九條

第五節

詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

人ヲ	欺罔シ又ハ恐喝シテ財物 若クハ證書類ヲ騙取	シタル 者ハ	二月以上 四年以下 重禁錮 四圓以上 四十圓以下 罰金	ニ處シ ヲ附加ス
因テ官私ノ文書ヲ	偽造シ又ハ増減變換	セシメタル者	偽造ノ各本條ニ照シ 重キニ從	テ處斷ス 第三百九十條
幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯 亂シタルニ乘シテ其	財物若クハ證書類ヲ授與			第三百九十一條
物件ヲ販賣シ又ハ交換ス ルニ當リ	其物質ヲ變シ若クハ分量 ヲ偽テ人ニ交付			ヲ以テ論ス 第三百九十二條
他人ノ動産不動産ヲ冒認 シテ	販賣交換シ又ハ抵當典物 ト爲			ヲ以テ論ス 第三百九十三條
自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典 物ト爲シタルヲ欺隱シテ	他人ニ賣與シ又ハ重ネテ 抵當典物ト爲	シタル者	亦	同シ 第三百九十四條
前數條ニ記載シタル罪ヲ犯			六月以上 二年以下 監視	ニ付ス 第三百九十四條
受寄ノ財物借用物又ハ典 物其他委託ヲ受ケタル	金額物件ヲ費消		一月以上 二年以下 重禁錮	ニ處ス
若シ	騙取拐帶其他詐欺ノ所爲	アル者ハ	詐欺取財	ヲ以テ論ス 第三百九十五條







第八節

決水ノ罪

堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ	人ノ住居	シタル	田圃曠坑牧場等ヲ荒廢	シタル者ハ	無期徒刑	
	セサル	家屋				重懲役
	造物ヲ	其他ノ建造物ヲ				
他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ	堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害			一月以上二年以下 重禁錮 二十圓以上 四十圓以下	重懲役	
過失ニ因テ水害ヲ	起			シタル者ハ	失火ノ例ニ照	シテ處斷ス 第四百十四條

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

但船中	衝突 其他	ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル	シタル	船舶ヲ覆没	シタル者ハ	死刑	第四百十五條
	前條				ナキ時ハ	輕懲役	第四百十六條
	死亡					無期徒刑	第四百十五條

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪

人ノ家屋其他ノ建造物ヲ	毀壞	一月以上五年以下 重禁錮	ニ處シ
因テ人ヲ	死傷ニ致	毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從	テ處斷ス 第四百十七條
人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊園牧場ノ柵欄ヲ	毀壞	三十日以上 重禁錮	ニ處シ
		又ハ 二十圓以上 四十圓以下	罰金 第四百十八條
		シタル者ハ	







六	官署ノ督促ヲ受ケテ刑場 セントスル家屋牆壁ノ修 理ヲ爲サハル者	路上ニ於テ犬其他ノ獸類 ヲ放シ又ハ驚逸セシメタ ル者	禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲 シ又ハ取除カサル者	溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官 署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下 水ヲ浚ハサル者	官署ノ督促ヲ受ケテ道路 ノ掃除ヲ爲サハル者
七	官許ヲ得スシテ死屍ヲ解 剖シタル者	發狂人ノ看守ヲ怠リ路上 ニ徘徊セシメタル者	汚穢物ヲ道路家屋圍面ニ 投擲シタル者	制止ヲ肯セシテ路上ニ 遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ 爲シタル者	牛馬ヲ牽キ又ハ鞭クツラ 忍カセシテ行人ノ妨害 ヲ爲シタル者
八	自己ノ所有地内ニ死屍ヲ スルヲ知テ官署ニ申告セ ス又ハ他所ニ移シタル者	狂犬猛獸等ノ繋鎖ヲ怠リ 路上ニ放チタル者	醫藥ノ規則ニ違背シテ工 商ノ業ヲ爲シタル者	官許ヲ得スシテ獸類ヲ官 署ニ放チ又ハ牧畜シタル 者	出入ヲ禁止シタル場所ニ 濫リニ出入シタル者
九	人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ 至ラサル者	變死人ノ検視ヲ受ケスシ テ埋葬シタル者	死亡ノ申告ヲ爲サスシテ 埋葬シタル者	身置ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之 ヲ業トスル者	通行禁ノ榜ヲ犯シテ通 行シタル者
十	密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒 合容止ヲ爲シタル者	墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀 損シ又ハ汚瀆シタル者	流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑 惑シタル者	他ノ業人 ノ牛馬其他 ノ獸類ヲ 解放 シタル者	道路ニ於テ放歌高聲ヲ發 シテ制止ヲ肯セサル者
十一	人ノ住居セサル家屋内ニ 潜伏シタル者	神祠佛堂其他公ノ建造物 ヲ汚損シタル者	妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ 祈禱符呪等ヲ爲シ人ヲ惑 ハシテ利ヲ圖ル者	路上ノ常燈ヲ消シタル者	路上ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂 書シタル者
十二	定リタル住居ナク平常營 生ノ産業ナクシテ諸方ニ 徘徊スル者	公然人ヲ罵詈嚼弄シタル 者但テ訴ヲ待テ其罪ヲ論ス ル者	私ノ地外ヘ濫リニ家屋牆 壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シ タル者	官許ヲ得スシテ路傍又ハ 河岸ニ床店等ヲ開キタル 者	邸宅ノ番號標札招牌又ハ 貸家賣家ノ貼紙其他報告 ノ榜標等ヲ毀損シタル者
十三	官許ノ墓地外ニ於テ私ニ 埋葬シタル者	○	○	路上ノ植木市街ノ常燈及 ヒ厠場等ヲ毀損シタル者	他人ノ田野圍面ニ於テ菜 蓂ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採 折シタル者
十四	遺棄罪ノ犯人ヲ曲庇スル 爲メ偽證シタル者但テ被告 人偽證ノ爲刑ヲ免カレタ ル時ハ第二十九條ノ例 ニ從フ	○	○	道路橋梁其他ノ場所ニ傍 示シタル通行禁止及ヒ指道 標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者	公園ノ規則ヲ犯シタル者
十五	○	○	○	テ處斷ス	通路ナキ他人ノ田圃ヲ通 行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタ ル者
十六	前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨ リ定ムル所ノ違背罪ヲ犯 シタル者ハ 其罰則ニ從 テ處斷ス	○	○	○	○

明治十三年 刑法一覽表 畢



2  
122

121



